

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2019年 第13週（3月25日～3月31日）

今週のコメント

～感染性胃腸炎～手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 減少」

第13週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は2,206例であり、前週比4.9%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.51、2.15、1.15、0.50、0.47であった。

感染性胃腸炎は前週比10%減の1,096例で、南河内8.81、泉州7.67、大阪市西部6.50、大阪市南部6.44、北河内5.70である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比7%減の428例で、南河内4.13、北河内・堺市2.74、中河内2.60、大阪市南部2.50であった。

RSウイルス感染症は前週比8%減の228例で、大阪市北部2.43、北河内1.82、大阪市西部1.60、南河内1.38、泉州1.24である。

伝染性紅斑は前週比1%減の100例で、豊能1.00、中河内0.85、北河内0.63であった。

咽頭結膜熱は前週と同数の93例で、北河内0.89、泉州0.86、中河内0.65である。

インフルエンザは31%減の346例で、定点あたり報告数は1.14であった。南河内2.17、豊能1.41、泉州1.24、中河内1.19、堺市1.17である。

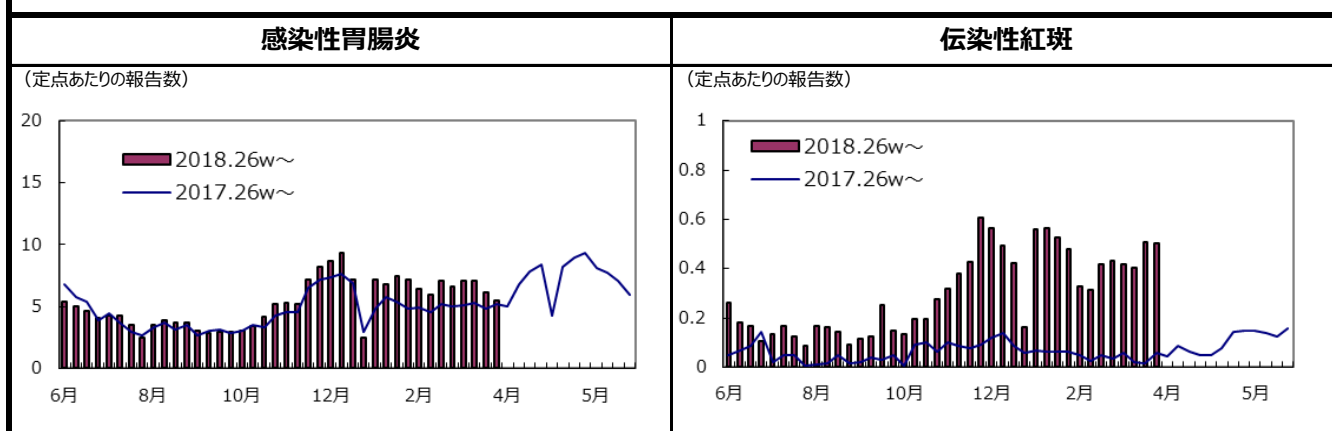


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2019年 第13週3月25日～3月31日）

第13週の順位	第12週の順位	感染症	2019年 第13週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2018年 第13週の 定点あたり 報告数	2019年第13週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.51	10%減	5.18	2歳_13%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.15	7%減	1.74	5歳_13%
3	3	RSウイルス感染症	1.15	8%減	0.35	1歳未満_38%
4	4	伝染性紅斑	0.50	1%減	0.06	4歳6歳_17%
5	5	咽頭結膜熱	0.47	増減なし	0.27	2歳_26%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.14	31%減	1.91	20歳以上_29%

第13週のコメント

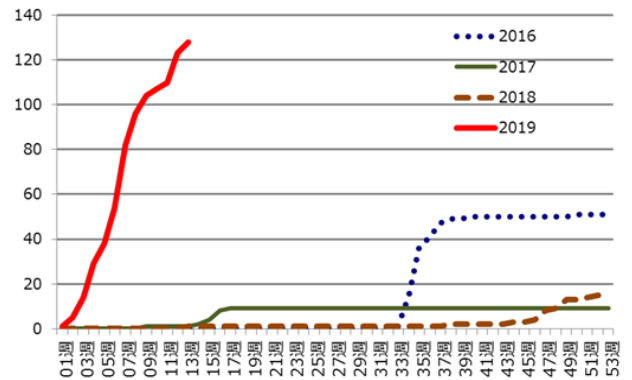
～麻疹～ ワクチンで予防可能な感染症です。2019年、大阪府内の累積感染者数は128例です。

全数把握感染症

麻疹

麻疹（はしか）は麻疹ウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発疹性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発疹が出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻疹発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻疹排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻疹が流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発疹等）があり、1）1か月以内に麻疹患者と接触していた場合、2）麻疹流行国（主にアジア及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻疹を疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻疹疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻疹はワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

(累積報告数)



[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[麻疹とは\(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数（2019年 第13週3月25日～3月31日）

*) 注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	報告はありません									
4類感染症	A型肝炎	1	1							9
	デング熱（I型）	1							1	8
5類感染症	アメーバ赤痢	1							1	11
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3				1	2			43
	後天性免疫不全症候群	5					1	1	3	34
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1	19
	侵襲性肺炎球菌感染症	3					1		2	68
	梅毒	9		1	1		2	1	4	260
	百日咳	8	1		1	1	1		3	243
	風しん	2							2	96
麻疹	5	1						3	128	
結核 (2019年2月分)	結核 新登録患者数：141名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 62名) (府内累積報告数 276名、内 肺・喀痰塗抹陽性 116名)									

(2019年4月2日 集計分)